

「授業構想力評価スタンダード（家庭科）」

観点 \ 段階	段 階 1	段 階 2	段 階 3
A . 授業構想力			
1 . 学習者の把握			
1) 学習者の実態把握	クラス全体として学習に取り組む姿勢を把握している。	個々の学習者の実態（学習意欲，リーダーシップ，理解度，興味・関心，生活認識や生活体験など）を把握し，指導上配慮することを具体的に挙げている。	・クラス全体や個々の学習者に適した学習方法や教材を考慮し，授業構成の検討に活かしている。 ・学習者が生活する家庭や地域社会の特色，抱えている問題点などを把握し，授業構成に活かしている。
2) 学習への構え・ルールづくり	授業の目標を達成するために，クラス全体の学習への構えやルール，安全・衛生に配慮した体験的活動に必要なルールを把握している。	授業の目標を達成するために必要な学習の構えやルールづくりを検討し，学習者に明示している。	授業の目標を達成するために必要な学習の構えやルールを学習者自身が創り出すように支援している。
2 . 目標の分類と設定	目標を，関心・意欲・態度，創意工夫，技能，知識・理解の観点から設定している。	目標を生活認識・生活実践力形成の観点から，学習者の評価が具体的にでき，授業展開により検証できるように設定している。	目標を生活認識・生活実践力形成の観点から捉え，教師の授業評価と学習者の自己評価の判定基準として活用できるように段階的に設定している。
3 . 授業構成			
1) 教育内容の構成	・学習指導要領やそれに準拠した教科書をふまえ，学習者の生活実践と関わらせて教育内容としている。 ・学習者の生活実践と関わらせて体験的活動を整理して教育内容としている。	・幅広い生活事象への発展を考慮して教育内容を構成している。 ・教育内容の系統性と学習者の生活実態をふまえ，段階的に体験的活動を整理して教育内容を構成している。	・教育内容を領域横断的・総合的に捉え，相互に関連づけて構成している。 ・学習者自らの探求にもとづく多様な体験的活動を取り入れることができるように教育内容を構成している。
2) 教材(題材)の選択・構成	教育内容を反映し，学習者にとって具体性のある教材を選択し構成している。	学習者が学習問題を発見したり，仮説の検証や主張の根拠づけに活用できる教材を選択し構成している。	学習者に多様な見方や考え方が生まれ，多面的な学習活動へ展開できる教材を選択し構成している。
3) 授業過程の組織	・導入・展開・終結の流れがある授業過程を組織している。 ・教育内容の習得にむけて，問の順序性を考慮している。 ・授業過程に体験的活動や演示を適切に位置づけている。	・事実から理論を発見する方向へ，または理論を活用して事実を説明する方向へと授業過程を組織している。 ・授業全体を貫く主発問と補助発問を区別し，それらを系列化して構成している。 ・学習者自らの主体的な体験的活動を促すように授業過程を組織している。	・学習者自らが生活事象から問題を発見し，資料を収集し活用して問題解決していく授業過程を組織している。 ・教育内容や教材の特質，学習者の実態に即して，主体的な探求活動を促すように問の表現や構成を工夫している。 ・学習者自らが体験活動を探求し選択できるように授業過程を工夫している。

観点 \ 段階	段 階 1	段 階 2	段 階 3
4) 学習法・学習形態の選択・組織	学習者の学習意欲を喚起し、発言や活動を促す学習法・学習形態を選択し組織している。	多様な学習法・学習形態の特質をふまえて、目標、教育内容に適した効果的な学習法・学習形態を選択し組織している。	学習者自らが発見した問題を解決していく過程に適する学習法・学習形態を、学習者が選択し組織していけるよう支援している。
4. 単元計画（授業計画）			
1) 単元（授業）計画の作成	適切に主題と時間数を割振っている。	目標に沿って題材の各主題、指導過程、時間配分の関係を示している。	学習問題に対する学習者の多様な追求過程を考慮し、複線化した題材計画を構想している。
2) 学習指導案の作成	学習指導案の一般的な形式を理解し、適切に記述している。	教授・学習活動、教育内容、資料・教材を区分し、生活認識・生活実践力の形成という目標との関わりを示している。	生活認識・生活実践力の形成に向けて、複線化する学習者の思考展開や学習活動に合わせて、学習指導案の形式を選択し適切に記述している。
3) 学習評価計画の作成	関心・意欲・態度、創意工夫、技能、知識・理解の観点ごとに、評価活動を計画している。	授業目標、授業構成、授業展開の実際との一貫性のある具体的な評価項目と評価活動・方法を計画し示している。	・学習者が取り組む学習問題や学習活動に即して、診断的評価（指導前の評価）、形成的評価（指導過程での評価）、総括的評価（題材終了時のまとめの評価）、学習者の自己評価などの評価活動を適切に選択し計画している。 ・評価のための多様な手立てを工夫している（発言、カルテ、ワークシート、ノート、作品、ペーパー・技能テスト、等）。